

なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～



天国とお浄土は
どう違うの？

「天国」という言葉を、私達は、テレビなどでよく耳にします。テレビで言う天国とは、人が死んだ後に行く世界のことを指しているのでしょうか。

「天国」と呼ばれるものは、キリスト教の教えに出てくる表現です。キリスト教では、天国の神様が御子である主イエス・キリストを救い主としてこの世に遣わせた、とされています。

では、仏教には「天国」のようなところが無いのかというと、そうではありません。

仏教では、「お浄土」と呼ばれる場所があります。お浄土とは阿弥陀仏さまがいらっしゃる、お悟りの世界です。

「一切苦しみがなく安楽な世界が広がっている場所」とされ、心地よい仏さまの声が響き渡り、辺りには素晴らしい香りが漂い、宮殿や楼閣がそびえ立ち、宝珠の池や蓮華が咲き乱れている場所と、説かれています。

阿弥陀さまは、いつでも、どこでも、どんな時にでも共に喜び、共に悲しみ、共に悩み、「いつも私が一緒だから、安心してね。大丈夫だよ」と私のことをいつも気にかけて、寄り添ってくださっています。

そんな阿弥陀さまは、皆さんがお友達と仲良く、助け合って「ありがとう」「おかげさま」の生活をおくって欲しいといつも願われておられます。